

## 就労支援部会 令和4年度活動報告及び令和5年度活動計画

## 令和4年度活動報告

開催回数 及び開催 日	3回 令和4年9月15日（第1回）、令和4年11月17日（第2回） 令和5年2月13日（第3回）
出席機関	江田島市商工会，呉公共職業安定所， 呉安芸地域障害者 就業・生活支援センター，江田島市手をつなぐ育成会， ひまわりくらぶ江田島，自立支援センターあおぞら，SEL P江能， ワークセンターおおきみ，くらしサポートセンターえたじま， 社協無料職業紹介所，江田島市産業部交流観光課， 江田島市障害者生活支援センター，障害者相談支援事業所江能， 江田島市福祉保健部社会福祉課
活動内容	<p>1 各関係機関の現状</p> <p>(1) 各事業所の現状や課題</p> <p>ア 自立支援センターあおぞら</p> <p>就労移行：登録者数 4名。利用平均 3.5名。(4に近い。)</p> <p>就労継続支援B型：登録者数 32名。利用平均 16.4名。 登録はあっても何か月かに1回の方もいる。</p> <p>生活介護：登録者数 6名。利用平均 5.3名。</p> <p>就労定着：登録者数 2名。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度4月から開始。一般就職後，半年経過後に利用開始可能。</li> <li>・あおぞらから一般就労した人数：前年度は5名。今年度が現時点で2名，内定者1名。</li> <li>・就労者が増えているため，就職後も継続した支援が行えるよう事業開始。</li> <li>・昨年度就労者のうち，4名は半年以上継続就労している。就労定着支援を利用していければと考えている。</li> </ul> <p>作業内容：変更なし。</p> <p>新たな作業として，水産業者で地面に落ちたもの（いりこ）の仕分け作業がある。ペットフードの作成のため仕分け，残ったもの（いりこの粉）は畑の肥料とするもの。</p> <p>課題：就職できる可能性のある方を支援しているが，雇いたい企業が圧倒的に少ない。当事者が選べるほどの仕事がない。 当事者がどれぐらいできるかの理解されていないように感じるため，能力を見てもらえる機会を持つことができればと思っている。</p> <p>イ SEL P江能</p> <p>就労継続支援B型：定員20名のうち，登録者は15名。</p> <p>作業内容：盆灯籠作成，セーター万年筆からの組み立て，トマトパックのシール貼り，貝殻通し，かご作り</p> <p>課題：高齢の方が増えている。持病がある方も多く，就労につなげることができない。現状維持が精一杯の方が増えてきている。何ができるか検討しながら行っている。</p> <p>ウ りんりん（報告のみ）</p> <p>就労継続支援B型：定員20名のうち，登録者16名。平均利用 9～10名。</p> <p>作業内容：貝殻通し，グリーンファーム沖美のトマトの紐切り，きくら</p>

げの栽培・加工，手袋の梱包

エ ひまわりくらぶ（報告のみ）

就労継続A型事業所：定員 36 名（江田島，広島を合わせて）。利用者数  
本体に 20 名，施設外に 16 名。江田島荘に施設外  
として 2～4 名。

作業内容：アイスの製造，総菜の調理，養生シート洗い，筒形の紙巻，  
江田島荘のリネン洗い・畳み

オ ワークセンターおおきみ（報告のみ）

就労継続支援B型：定員 10 名のうち，受け入れは 11 名。

作業内容：セーラー万年筆の作業，貝殻通し，花の苗の販売

## （2）関係機関からの情報提供及び課題

ア ハローワーク

就職希望で登録は 28 名（男性 22 名，女性 6 名。10 代 2 名，20 代 6 名，  
30 代 4 名，40 代以降が 15 名）。障害者求人は 0 件。しかし，江田島の企  
業から障害者雇用検討の相談はある。相談があった際には就業・生活支  
援センターと相談しながら作業所に通っている方，就労移行に通ってい  
る方に就職の準備（コミュニケーションが取れるか，週 20 時間の就労を  
目指すため，休まずにほぼ毎日通うことができているかどうか，交通手  
段 [本人が通えるかどうか]）ができている方がいるか相談する。関係機  
関と相談しながら対象者がいた際は，就業・生活支援センターの実習制  
度を利用しながら，本人に合う仕事を引き出せるよう，チーム支援を行  
なっている。チーム支援により企業側も就職後に相談場所があることで  
安心する。一つ一つの企業と関わっていく中で，事業所の理解が深まれ  
ばと思っている。

イ 呉安芸地域障害者就業・生活支援センター

チーム支援の中で，実習制度は企業の方の安心材料になるとともに，本  
人も，できたことや難しかったことを整理し共有できれば，サポートを  
受けやすくなり，安心につながる。本人・企業も相談先が分かれば，継  
続した就労につながりやすい。実習の有無によって就労継続期間が違  
うので，積極的に実習を使って就職してもらえれば。

先日，登録者に調査票を送付した。返信者は高齢化しているため，家  
族全体を支援する必要が出てきている。就労とは違った視点で，市町行  
政とも協力していく必要がある。

## （3）市からの報告

交通費助成について：

令和 3 年度から障害者施設等の通所等の助成として実施。就労移行支  
援，継続支援を利用する際の交通費助成と発達障害の診療を行っている  
市外の医療機関に通院する場合等に助成を実施。通所には 420 円/日も  
しくは実費の低い方，通院については 1,080 円/日もしくは実費の低い  
方を助成。令和 3 年度実績では，通所の対象事業所は 9 事業所で実人数  
は 14 名。支給総額は約 53 万円。一方，通院助成については，支給実  
人数は 23 名で，助成額は約 22 万円。

助成について，様々な方向から意見をもらっている。必要に応じて検  
討していく必要があると思うので，引き続き検討を進めていく。

今後も継続して，定期的に現状確認を行う。

## （4）手をつなぐ育成会より，考えてもらいたいこと

ア 運転免許の取得に関する支援

江田島市の運転免許取得の対象障害について、3障害に拡大してほしいとの希望。

社会福祉課：令和4年4月から要綱を改正し、療育手帳、精神保健福祉手帳をお持ちの方も対象としている。

#### イ 住居について

グループホームへの助成だけでなく、そのほかへの助成の拡大や自宅から離れて生活するための訓練のプログラム等があれば選択肢が広がると思う。

→ 社会福祉課：障害者計画の中にも市営住宅等への入居支援が取り組みの中にある。地域生活は重要だと思うので、具体的な取り組みへつなげていきたい。

#### ウ 就労先の開拓やサポート

B型作業所においても工賃が上がるような作業を開拓していければ、利用者の経済的な負担軽減になる。一般就労であってもサポートがあれば可能だと思うので、サポートの充実を依頼したい。江田島市に企業が来た際にも障害者雇用のアプローチをして欲しい。

→ 社会福祉課：江田島荘の際にはひまわりくらぶが作業を行っている。オーシャンポイントの雇用等を確認し、可能であれば声をかける。

## 2 障害者雇用当事者からの報告会の開催について

### (1) 対象者

就労希望及び就労に結び付きそうな当事者、家族、企業

### (2) 報告者

就労している当事者（ビデオでの報告）、障害者雇用を行っている企業の担当者（会場にて報告）、支援者（会場にて報告）

報告者候補としては、30歳代の女性、20歳代の女性で検討中。どちらも就労移行支援を利用し、就労につながった方。

### (3) 内容

当事者：障害者雇用の成功体験についての報告

就職のためにがんばったこと、難しかったこと、就労に大切だと思うこと。

企業の担当者：障害者雇用を行う上で気をつけていること。

支援者：支援の流れ、障害福祉サービスの利用方法について

### (4) 報告会の流れ

全体では1時間30分程度で開催。

報告者1名につき当事者へのインタビューを5～10分、企業の報告を15～20分、支援者から本人に実施した支援についても含め、30分程度で行なう。2名の報告終了後、全体的なまとめとして就労支援の流れについて説明を行う。

### (5) 開催時期

令和5年9月～11月の間で検討する。

開催の流れを決めておいて、報告者については状況変化も考えられるため、来年度、第1回部会開催時に時期及び報告者の検討を行う。

## 3 障害者雇用の状況について

### (1) 現状報告

#### ア 呉安芸地域障害者就業・生活支援センター

雇用される企業が江田島市内だと限られる。広島や呉に出て行かれる方

	<p>も多い。車を持っていれば就職につながりやすいが、それ以外の方は交通手段が少ない。船があるので広島，呉への交通手段はいいが，その後の乗り換えに負担を感じている方もいる。</p> <p>イ ハローワーク 江田島市における障害者雇用においては，個別にアプローチしている。本人の状況を確認しながら，本人だけでなく事業所にも負担をかけないような就職を目指し，長期の就労につながるよう対応をしている。</p> <p>(2) 新規企業等における障害者雇用について 交流観光課として，新しくできる事業者には障害者雇用についての話はしている。オーシャンポイントに話はしているが，稼働後に様子を見ながらになると思う。そのほかにも前向きに考えている企業はあるが，動いてみてどういった業務ができるかを見ながら相談させてほしいと言われるため，新規の企業については時間がかかるかもしれない。</p>
--	--

### 令和5年度活動計画

開催回数	3～4回 定例会終了後に開催予定
出席機関	江田島市商工会，呉公共職業安定所， 呉安芸地域障害者 就業・生活支援センター，江田島市手をつなぐ育成会， ひまわりくらぶ江田島，りんりん，自立支援センターあおぞら， SELP江能，ワークセンターおおきみ，くらしサポートセンターえたじま， 社協無料職業紹介所，呉特別支援学校江能分級，江田島市産業部交流観光課， 江田島市障害者生活支援センター，障害者相談支援事業所江能， 江田島市社会福祉課
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所における現状及び課題の確認</li> <li>・障害者雇用当事者からの報告会の開催</li> </ul>